

お知らせ お詫びと訂正

広報いが市 11月1日号、5ページ掲載の「伊賀市の決算状況を報告します」の財政の早期健全化・再生に関する指標に誤りがありました。お詫びして訂正します。

- 実質赤字比率の早期健全化基準 (誤) 12.75 → (正) 11.89
- 連結実質赤字比率の早期健全化基準 (誤) 17.75 → (正) 16.89
- 連結実質赤字比率の財政再生基準 (誤) 40.00 → (正) 35.00

問い合わせ

財政課
☎ 22-9608 FAX 22-9694

イベント やまなみ文化祭

【とき】

12月18日(日)
午前9時30分～

【ところ】

ふるさと会館いが 大ホール

【内容】

歌・踊り・演奏などやまなみ文化協会の13サークルが出演します。

【問い合わせ】

いがまち公民館
☎ 45-9122 FAX 45-9160

お知らせ コミュニティ助成事業

財自治総合センターでは、宝くじの普及広報事業の一環として、住民が行うコミュニティ活動を推進するため、コミュニティ助成事業を実施しています。

中村区(大山田)ではこの助成を受けて区内の多目的広場に、住民の世代間の交流や親睦および使用者全体の健康増進を目的として、遊具(ブランコ、鉄棒、ぶらぶらツリー、滑り台、ベンチ)を購入しました。



【問い合わせ】

大山田支所振興課
☎ 47-1150 FAX 46-1764

年末の交通安全県民運動実施!

【期間】

12月11日～20日

【運動の重点】

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶

【問い合わせ】

市民生活課
☎ 22-9638
FAX 22-9641



お知らせ

県知事と市町長との1対1対談

住民サービスの向上や県と市町との連携の強化を図ることを目的に今年度から始まった「知事と市町長との1対1対談」が、次のとおり開催されます。

【とき】 1月12日(休)

午後4時～5時

【ところ】

ゆめぼりすセンター 2階大会議室

【内容】

地域公共交通の現状ほか

【問い合わせ】

企画課
☎ 22-9620 FAX 22-9628

聴診器
市民病院だより



「年のせい」と診察されたら

整形外科 佐藤 昌良



あるとき診察に高齢の女性がみえました。「腰が痛くて困っています。」とのことで、加齢に伴う腰椎の変形と、骨粗鬆症であることを説明して、お薬を処方しました。数回通院されましたが、痛みが続いており「せつない、せつない。」と言われます。「またよくなるからお薬を続けましょう。」と励ましの声をかけるのですが、「あーせつない、せつない。」とため息をつかれます。たとえ死に至る病ではなくとも、大変な苦痛であること。そして生きがいや希望を失って、うつ状態になってしまうことを学ばせていただきました。

お元気なお年寄りたくさんみえます。いつまでも元気で身の回りのことは自分でやりたい。趣味や旅行もしたい。孫と一緒に遊びたい。いくらでもやりたいことや望みがあります。

確かに変形した骨や軟骨を元通りにすることはできません。しかし薬やリハビリで痛みを和らげ、

今の生活を続けられるようにすることはできます。

ひざや股関節の痛みで人工関節手術を行うと、痛みがなくなり歩きやすくなります。手足のしびれ感や、歩行障害は背骨の手術でよくなり、今よりも遠くまで歩けるようになります。

手術の話は怖いといわれる方もみえます。ご家族やお友達と一緒に説明を聞いてもらい、ゆっくりと相談して十分納得されてから、決めることもできます。心配なことは何でも聞いてください。何でもお答えいたします。命がけの手術ではありません。お体が手術に耐えられるか全身を検査してから安全に行う手術です。手術後の回復も早く、手術後に寝たきりにはしません。すぐに歩行訓練が始まります。ご安心ください。

積極的に前向きな生活ができるようお手伝いしたいと思いますのでご相談ください。



**募集 ☆クリスマスのきりかぶ
ケーキを作ろう☆**

～まなびあおやま子ども講座～
かわいいクリスマスの飾りを付けた、きりかぶ形のクリスマスケーキ、「ブッシュ・ド・ノエル」を作ります。

【と き】
12月18日(日)
午前9時30分～正午

【ところ】
青山公民館 3階料理実習室

【対象者】
小学3年生～6年生

【募集人数】
16人 ※先着順

【参加費】
300円
※事前申込が必要です。
※詳しくは電話でお問い合わせください。

【申込先・問い合わせ】
青山公民館
☎ 52-1110 FAX 52-1211

「広報いが市」の点字版・録音版を発行しています

希望される場合はお問い合わせください。
【問い合わせ】 障がい福祉課
☎ 22-9657 FAX 22-9662

**募集 放送大学平成24年度
第1学期(4月入学)**

放送大学は自宅で学べる
通信制の大学です。

【募集内容】 教養学部学生・大学院
修士選科生・大学院修士科目生

【学生の種類】
○全科履修生：大学卒業を目的に学ぶ
○選科履修生：1年間に在学し興味のある科目を学ぶ
○科目履修生：半年間に在学し、興味のある科目を学ぶ

【入学資格】
○全科履修生
18歳以上で、高等学校卒業またはこれと同等以上の人
○選科履修生・科目履修生
15歳以上の人

【入学試験】 なし
【学習方法】
自宅のテレビ(BSデジタル放送またはケーブルテレビ放送)で放送授業を視聴、または放送大学三重学習センター(三重県総合文化センター内)のDVDなどを利用して学習します。
※ケーブルテレビは一部地域で視聴できない場合があります。

【募集期限】 2月29日(水)
【問い合わせ】
放送大学三重学習センター
☎ 059-233-1170
FAX 059-233-1179

**国際交流協会
クリスマスコンサート**

【と き】
12月17日(土)
午後2時～4時

【ところ】
島ヶ原会館 ふれあいホール

【内容】
○中国人演奏者を含むトリオの演奏(ピアノ、アコーディオン、鍵盤ハーモニカ)
○腹話術
○交流会(ティータイム)

【問い合わせ】 国際交流協会
☎ 22-9629 FAX 22-9628
企画課
☎ 22-9621 FAX 22-9628

～ウィークリー伊賀市～

今月は「年末年始の犯罪被害および交通事故防止」などをお送りします。

ご意見をお聞かせください

広報いが市・行政情報番組(ウィークリー伊賀市・文字放送)について、ご意見・ご要望をお聞かせください。
【問い合わせ】 秘書広報課
☎ 22-9636 FAX 22-9617



まずは、知ることから —障がい福祉課—

■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話をしています。

今年は、世界各地で大きな災害が起こった年でした。国内では、3月に東日本大震災が起こり、県内でも、紀宝町をはじめとする県南部地域では、9月の台風12号の影響による土砂災害などで被災された方々が、いまだ不安な日々を過ごされています。これらの大きな災害を機に、皆が以前より真剣に防災について考えるようになったのではないのでしょうか。

さて、災害を想定した避難訓練が各地域で実施されていますが、災害に対する不安は誰もが持っています。東日本のみなさんの避難所生活があまりにも長く続いたために、そこから見えてくる数多くの困難が報道で取り上げられてきたことも不安の一因かもしれません。

このような中、障がいのある人の避難や避難生活に大きな支障が生じるなどの問題がクローズアップされています。「コミュニケーションをとることが難しく、支援を求めることが困難だった」「聴覚障がいがあり、アナウンスが聞こえないなどの不安があり、避難所へ行けな

かった。」「子どもが自閉症で、大勢の人の中にいるのが苦手なため車の中で生活していた。」など、障がいがあるがゆえに避難所への避難を断念した人もたくさんいたそうです。周りの人たちが障がいの特性を理解し配慮することで、障がいのある人も安心して避難所を利用することができます。たとえば、筆談や、絵や体を指差したりしてコミュニケーションをとるなど、少しの工夫でわかり合えることもあります。

12月3日から9日までは、障害者週間です。週間中は、全国でさまざまな「障がい」についての啓発活動や講演会などが行われます。市でも、市内の大型店舗3店の店頭で「車いす使用者用駐車場の適正利用」などの啓発活動を行います。この機会に、まずは「障がい」についてもっと知り、その上で、障がいのあるなしにかかわらず一人ひとりがお互いの人権を尊重しあい、心豊かに暮らせるまちづくりをすすめるため、自分のできることから始めていくことが大切ではないのでしょうか。